

「アジア躍進続くも日本は低迷 英教育誌分野別大学ランキング」

アジア地域の大学の實力向上と日本の大学の低迷ぶりが英教育誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」(THE)の「分野別世界大学ランキング」でもあらためて明らかになった。北京大学、清華大学、シンガポール大学が11の研究分野中2分野でそれぞれ10位内に入るなどアジアの大学が高い評価を得る一方、日本どの研究分野でも20位内に入った大学がないほか、東京大学、京都大学以外、50位内に評価された研究分野が全くない大学ばかりという結果となっている。

1月22日に公表されたTHEの分野別世界大学ランキングは、「芸術・人文科学」、「ビジネス・経済学」、「コンピューター科学」、「教育学」、「工学」、「法学」、「生命科学」、「医学・保健学」、「物理科学」、「心理学」、「社会科学」という11の分野ごとに世界の大学を順位付けしている。評価法はTHEが昨年10月に公表済みの「世界大学ランキング2025」と同じ。「教育(学習環境)」、「研究環境」、「研究の質」、「企業との関係」、「国際性」の五つの指標をさらにそれぞれ複数の項目(全体で18)に分けて点数をつけ、総合点で順位づけしている。ただし、「分野別世界大学ランキング」ではそれぞれの分野の特徴に合わせて評価法の調整が行われている。

高等教育の多極化示す結果

今回の「分野別世界大学ランキング」で目立ったのが、アジア地域の大学の高評価。THEは「国の学術的能力がより広範囲に分散している今日の『多極化した高等教育の世界』を反映している」というサイモン・マーギンソン(Simon Marginson)英国オックスフォード大学教授のコメントを紹介している。東アジアと東南アジアの高等教育制度は、学生数の増加、政府資金の増加、より焦点を絞った業績重視の組織と運営、選択的な国際化政策により、過去20年間でよくなった、と同教授はみている。

ランキング結果でまず目を引くのは、ビジネス・経営、会計・財務、経済学・計量経済学を含む「ビジネス・経済学」分野で北京大学が前年の10位から4位に浮上し、清華大学も8位から6位に上昇、と中国の2大学が高い評価を得ていることだ。さらに教育に関する学術研究や教員養成などを含む「教育学」分野でもアジアの大学の高い評価が目立つ。香港大学が6位、清華大学が7位と前年の順位を維持し、北京大学が12位から8位に浮上した結果、上位10位内にアジアの3大学が入った。香港中文大学も前年の19位から11位へと大きく順位を上げている。

物理学、化学、数学、統計学、天文学、地質学、環境・地球・海洋科学という幅広い

専門分野を含む「物理科学」分野でも、シンガポール国立大が前年の12位から10位に順位を上げ、アジアで初めてトップ10に入った。北京大学が11位（前年15位）、清華大学が12位（同14位）と、ともに前年より順位を上げ、トップ10に近づいている。

「THE 世界大学ランキング 2025」では、1位の英国オックスフォード大学、2位の米国マサチューセッツ工科大学以下、最上位10大学を英米2カ国が占める。こうした米国と欧州主要国の有力大学が圧倒的に優位という状況は、分野別ランキングでも大きな変化は見られない。しかし、これら米国と欧州主要国以外の大学の順位だけを比較すると、アジアの優位が明らかに見て取れる。11の分野のうち、カナダ・トロント大学が「芸術・人文科学」「医学・保健学」「心理学」の3分野で最高位を得ているほか、オーストラリア・メルボルン大学が「法学」で最高位となっている。しかし、これら4分野を除く残り7分野（「ビジネス・経済学」「コンピューター科学」「教育学」「工学」「生命科学」「物理科学」「社会科学」）の最高位校は、いずれも北京大学、シンガポール国立大学、香港大学というアジアの大学だ。しかもこれら7分野は2位もアジアの大学となっている。

中国とシンガポールの大学は、11の分野すべてで上位50位内に名を連ねており、香港の大学も「芸術・人文科学」と「心理学」を除く9分野で上位50位内に入っているのも目を引く。

「THE 分野別世界大学ランキング」各分野1位校と米国・欧州除く地域最上位2校

分野	1位校（世界大学ランキング2025順位）	米国欧州除く地域最上位2校と順位（かっこ内は世界大学ランキング2025順位）
芸術・人文科学	マサチューセッツ工科大学(2)	16位トロント大学(21) 25位シンガポール国立大学(17)
ビジネス・経済学	マサチューセッツ工科大学(2)	4位北京大学(13) 6位清華大学(12)
コンピューター科学	オックスフォード大学(1)	11位シンガポール国立大学(17) 12位北京大学(13)
教育学	スタンフォード大学(6)	6位香港大学(35) 7位清華大学(12)
工学	ハーバード大学(3)	9位シンガポール国立大学(17) 11位北京大学(13)
法学	スタンフォード大学(6)	11位メルボルン大学(39) 12位シンガポール国立大学(17)

生命科学	ハーバード大学(3)	11位北京大学(13) 15位清華大学(12)
医学・保健学	オックスフォード大学(1)	9位トロント大学(21) 15位清華大学(12)
物理科学	カリフォルニア工科大学(7)	10位シンガポール国立大学(17) 11位北京大学(13)
心理学	スタンフォード大学(6)	=11位トロント大学(21) 17位ブリ ティッシュ・コロンビア大学(41)
社会科学	マサチューセッツ工科大学 (2)	16位北京大学(13) 17位シンガポ ール国立大学(17)

([World University Rankings by Subject | Times Higher Education](#) [World University Rankings 2025 | Times Higher Education \(THE\)](#)から作成)：一はランキング外、数字の前の=は、同順位(タイ)を示す

アジア大学の課題「芸術・人文科学」

では、アジアの大学が抱える課題はないのか。THEが指摘しているのは「芸術・人文科学」分野の順位の低さだ。最高位はシンガポール国立大学の25位だが、20位内に評価されている分野が8分野ある同大学としては特に高い順位とは言えない。38位の北京大学は前年の28位から、39位の清華大学は前年34位からともに順位を下げている。北京大学は11分野のうち「芸術・人文科学」以外の10分野の順位はすべて25位内。清華大学もランキング外の「心理学」を除く残り9分野がすべて20位内であることから、これら両大学とも「芸術・人文科学」分野の順位の低さは目立つ。

実用的で応用的な学問を優先させるため、中国をはじめとするアジア地域の政府は歴史的に文系を軽視してきた。社会科学の分野では大きな進歩を遂げたが、人文科学は構造的、歴史的、政治的な要因のために遅れをとっている。しかし、より広範な使命を目指す清華大学や北京大学のような総合大学にとって芸術や人文科学は、豊かな教養を身につけた卒業生を育て、世界的な評価を維持するために不可欠。芸術や人文科学への投資を増やし、国の高等教育政策や戦略を策定する際には、これらの学問分野をSTEM(科学・技術・工学・数学)分野と同等に扱う必要がある。こうした黄福涛広島大学高等教育研究所教授のコメントをTHEは紹介している。

「THE 世界大学ランキング 2025」上位 100 位内アジア・太平洋地域大学の分野別順位

世界大学順位	大学	芸術・人文科学	ビジネス・経済学	コンピューター科学	教育学	工学	法学	生命科学	医学・保健学	物理科学	心理学	社会科学
12	清華大学	39	6	13	7	13	19	15	15	=12	—	=20
13	北京大学	38	4	12	8	11	14	11	25	11	18	16
17	シンガポール国立大学	25	12	11	—	9	12	21	17	10	45	17
28	東京大学	65	28	37	24	31	—	30	27	25	=72	35
30	南洋理工大学	101-125	36	19	18	14	—	49	85	26	101-125	47
35	香港大学	=60	46	53	6	39	30	45	=21	=41	=57	=29
=36	復旦大学	126-150	27	58	101-125	=43	—	39	40	22	—	=98
39	メルボルン大学	48	40	50	=16	69	11	35	20	79	25	56
44	香港中文大学	88	47	30	11	56	59	=81	24	61	67	55
=47	浙江大学	151-175	41	32	62	27	40	46	76	60	201-250	101-125
52	上海交通大学	101-125	25	33	—	26	39	56	56	=41	—	89
=53	中国科学技術大学	—	94	52	—	46	—	85	—	=31	—	—
55	京都大学	101-125	90	67	52	=43	—	37	=46	54	87	72
=58	モナシュ大学	81	=67	61	19	=59	74	57	31	101-125	63	77
61	シドニー大学	45	=71	=69	=21	61	47	47	35	=85	50	49
=62	ソウル大学	151-170	=75	49	65	40	—	63	44	70	—	101-125

65	南京大学	151-175	101-125	66	—	58	—	74	86	=31	—	126-150
66	香港科技大学	126-150	33	28	—	33	—	101-125	—	64		101-125
= 73	オーストラリア国立大学	65	81	81	—	101-125	31	=71	101-125	59	101-125	=29
77	クイーンズランド大学	126-150	65	101-125	40	68	=95	42	57	87	28	=68
= 80	香港城市大学	101-125	48	57	—	=59	42	96	—	65	—	61
82	K A I S T (韓国科学技術院)	201-250	176-200	39	—	35	—	87	—	=82	—	301-400
83	ニューサウスウェールズ大学	101-125	98	84	60	=51	35	=89	=71	=82	69	90
= 84	香港理工大学	101-125	=37	74	—	41	—	151-175	151-175	=97	—	=68

([World University Rankings by Subject | Times Higher Education](#) [World University Rankings 2025 | Times Higher Education \(THE\)](#) から作成) : —はランキング外、数字の前の=は、同順位 (タイ) を示す

影薄い日本の大学

一方、あらためて明らかになったのは日本の大学の評価が見劣る現実だ。アジアだけでなく「THE 世界大学ランキング 2025」で上位 100 位内に日本より多い 6 校が並ぶオーストラリアの大学と比べても評価の低さは明らか。「THE 世界大学ランキング 2025」28 位の東京大学は 11 分野中、「芸術・人文科学」、「法学」、「心理学」を除く 8 分野で上位 50 位内の評価を得ている。同じく 55 位の京都大学は「工学」と「生命科学」の 2 分野で 50 位内と評価されている。しかし、東京大学、京都大学を除くと 50 位内に評価された分野を持つ大学は一つもない。

100 位内に広げても東北大学 (「THE 世界大学ランキング 2025」120 位) が「工学」分野の 62 位をはじめ 3 分野、大阪大学 (同 162 位) が「生命科学」分野の 61 位をはじめ 2 分野、「東京工業大学」(同 195 位) が「工学」分野の 65 位をはじめ 2 分野で 100 位

内に評価されているだけだ。東京大学、京都大学とこれら3校を除く大学は「THE 世界大学ランキング 2025」で201位以下、500位までに入っている5校（名古屋大学、九州大学、北海道大学、筑波大学、東京医科歯科大学）を含め、100位内に評価された分野が全くないという結果となっている。

日本の大学でもう一つ目を引くのは、「法学」分野で順位がついた大学が一つもないことだ。憲法と行政法、国際法、商法および会社法、刑法と司法、法理論と法哲学が評価の対象となっており、この分野での研究・教育の国際的レベルをうかがわせる結果となっている。

「THE 世界大学ランキング 2025」上位500位内日本の大学分野別順位

順位	大学	芸術・人文科学	ビジネス・経済学	コンピューター科学	教育学	工学	法学	生命科学	医学・保健学	物理学	心理学	社会科学
28	東京大学	65	28	37	24	31	—	30	27	25	=72	35
55	京都大学	101-125	90	67	52	=43	—	37	=46	54	87	72
120	東北大学	251-300	—	101-125	—	62	—	=89	101-125	=95	—	—
162	大阪大学	401-500	251-300	151-175	—	101-125	—	61	70	176-200	301-400	301-400
195	東京工業大学	—	—	90	—	=65	—	176-200	—	126-150	—	301-400
201-250	名古屋大学	251-300	—	201-250	251-300	176-200	—	126-150	201-250	176-200	251-300	251-300
301-350	九州大学	301-400	301-400	301-400	251-300	126-150	—	151-175	251-300	301-400	301-400	301-400
351-400	北海道大学	401-500	—	601-800	—	201-250	—	151-175	251-300	301-400	—	301-400
351-400	筑波大学	401-500	—	501-600	201-250	401-500	—	251-300	251-300	301-400	401-500	251-300
401-500	東京医科歯科大学	—	—	—	—	601-800	—	251-300	151-175	—	—	—

[Rankings 2025 | Times Higher Education \(THE\)](#) から作成) : ーランキング外、数字の前の=は、同順位 (タイ) を示す (編集者注 : 東京工業大学と東京医科歯科大学は 2024 年 10 月 1 日付で統合し、東京科学大学と名称変更)

変わらぬアジア地域大学評価

アジア地域とりわけ中国の大学の評価が高まり、日本の大学の低迷が指摘されて久しい。文部科学省科学技術・学術政策研究所が 2016 年 11 月に公表した「日本の科学研究力の現状と課題」改訂版は、2001~2003 年と 2011~2013 年の 10 年の間に他の論文に引用された数がトップ 1% の高被引用論文数で中国が 10 位から 2 位に急浮上した一方、日本が 5 位から 12 位に大きく順位を落とした実態を明らかにしている。同研究所が昨年 8 月公表した「科学技術指標 2024」は、日本のトップ 1% 高被引用論文数が世界 12 位のままである一方、中国は米国を上回る 1 位を維持している現状が示されている。

2017 年 9 月に公表された「THE 世界大学ランキング 2018」でも、シンガポール国立大学が、前年の 24 位から 22 位、北京大学が 29 位から 27 位、清華大学が 35 位から 30 位とそれぞれ順位を上げ、このランキングが始まった 2010-2011 年以來、上位 30 位内に初めてアジアの大学が 3 大学入ったことを明らかにしている。日本は 2011~2015 年の間、アジアで 1 位を維持していた東京大学がこの時点で 46 位、京都大学が 74 位と 100 位内に入ったのが 2 校だけとなっている。

その後も中国の大学の躍進は止まらず 2021 年 10 月に THE が公表した「世界大学評判ランキング 2021」では、中国の大学が人文・社会科学分野でも世界の有力学者による評価を高めており、総合評価を押し上げている実態が示されている。最新の「THE 世界大学ランキング 2025」でも清華大学が前年同様 12 位を維持し、北京大学が前年より順位を一つ上げて 13 位となり、上位 10 校にさらに迫った。さらに上位 200 位内に入った中国の大学は 13 校と前年と変わらないものの 10 校が前年より順位を上げている。日本は上位 200 位内に入ったのは前年と同じ 5 校。東京大学が前年より順位を一つ上げたものの全体としては大きな変化はない結果となっている。

日文 小岩井忠道 (科学記者)

関連サイト

THE 分野別世界大学ランキング [World University Rankings by Subject](#)

THE 世界大学ランキング 2025 [World University Rankings 2025](#)

THE 分野別世界大学ランキング 2024 [World University Rankings 2024 by subject: arts and humanities](#)

関連記事

2024年10月16日 [THE 发布世界大学排名 2025：东京大学上升1位排名第28、京都大学排名第55](#)

2024年08月20日 [日本博士生入学人数增加4.4%，高被引论文排名继续低位](#)

2023年10月10日 [THE 发布世界大学排名，前200名中有5所来自日本](#)

2022年10月20日 [《泰晤士高等教育》公布世界大学排行榜：中国排名提升，全球研究实力分布出现变化](#)

2021年11月10日 [《泰晤士高等教育》发布世界大学声誉排名，中国大学在人文和社会学领域的评价也在上升](#)

2021年09月08日 [THE 发布世界大学排行：“新冠病毒”的研究，让中国大学提高排名](#)

2021年08月20日 [中国在高影响力论文中排名第一，被引次数位于前10%的论文超过美国](#)